

各 位

会 社 名 **株式会社エリアクエスト**
 (コード番号：8912 東証マザーズ)
 代表者名 代表取締役 清 原 雅 人
 お問い合わせ先
 管理部課長 種崎 博寿
 TEL：03-5794-0220

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 8 月 10 日付において発表いたしました平成 24 年 6 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 連結

平成 24 年 6 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正 (平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------|------|------|------|-------|
| 前回予想 (A) | 323 | 20 | 19 | 18 |
| 今回予想 (B) | 302 | 13 | 13 | 11 |
| 増減額 (B - A) | 21 | 23 | 32 | 29 |
| 増減率 | 6.5% | - | - | - |
| (ご参考：前年同期実績) | 307 | 26 | 24 | 28 |

平成 24 年 6 月期通期連結業績予想の修正 (平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------|------|-------|-------|-------|
| 前回予想 (A) | 662 | 54 | 53 | 51 |
| 今回予想 (B) | 652 | 16 | 15 | 17 |
| 増減額 (B - A) | 10 | 38 | 38 | 33 |
| 増減率 | 1.5% | 70.3% | 71.7% | 64.7% |
| (ご参考：前年同期実績) | 597 | 45 | 42 | 50 |

(2) 単体

平成 24 年 6 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正 (平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------|-----|-------|-------|-------|
| 前回予想 (A) | 91 | 33 | 32 | 32 |
| 今回予想 (B) | 91 | 43 | 42 | 40 |
| 増減額 (B - A) | 0 | 10 | 10 | 7 |
| 増減率 | 0% | 30.3% | 31.2% | 21.8% |
| (ご参考：前年同期実績) | 154 | 1 | 4 | 1 |

平成 24 年 6 月期通期個別業績予想の修正（平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------|-----|------|------|-------|
| 前回予想（A） | 242 | 0 | 1 | 0 |
| 今回予想（B） | 242 | 21 | 19 | 18 |
| 増減額（B - A） | 0 | 21 | 20 | 18 |
| 増減率 | 0% | - | - | - |
| （ご参考：前年同期実績） | 244 | 49 | 49 | 49 |

2．修正の理由

（平成 24 年 6 月期第 2 四半期累計期間）

当第 2 四半期累計期間の業績は、売上高につきましては、予想より下回るもののビル管理事業の売上も順調に伸び、概ね順調に推移しております。

営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、コスト削減が予想より進んでいないことと、ストック収入型のビル管理事業の初期コストが予想以上にかかることから前回予想を下回る見込みであります。

なお、単体の営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても、同様にコスト削減が予想より進まず、前回予想を下回る見込みであります。

（平成 24 年 6 月期通期）

通期の業績は、売上高につきましては、第 2 四半期累計期間業績予想の修正理由の通り、予想より下回るものの概ね順調に推移する見込みであります。

営業利益、経常利益及び当期純利益は、下期にはコスト削減が進む予想ですが、第 2 四半期累計期間同様にビル管理事業の初期コストが予想以上にかかることから前回予想を下回る見込みであります。

なお、単体の営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても同様に前回予想を下回る見込みであります。

3．特別利益・特別損失の計上

当第 2 四半期累計期間において、連結・単体共に、投資有価証券売却益を 6 百万、投資有価証券売却損を 1 百万、会員券評価損を 3 百万計上しております。

以 上